

まちの「今」をお届けします



写真左から、水本さん(厚狭高)、中野さん(厚狭高)、秋山さん(小野田中)、長谷川教育長

厚狭高生 2 人、小野田中学校生 1 人に青少年善行賞を授与

6月7日、市民の模範となる行動をとったとして市役所で青少年善行賞の表彰式を行いました。長谷川裕教育長は「勇敢かつ的確な判断。市民にとって誇りです」と感謝を述べました。

脱輪した女性に寄り添う

厚狭高等学校2年生(現3年生)の水本樹里さんと中野結月さんの2人が、2月10日に下校中、厚狭税務署前で女性が乗った車が動けなくなっているのを発見しました。前輪が溝に落ちていましたが、女性は脱輪したことに気づいていない様子であり、2人は急いで女性のもとに駆けつけました。同署の職員が前輪を抱え上げようと試みましたが、上がらなかったため水本さんが警察に通報。女性は事態を知って慌てている様子であったため、2人は女性を落ち着かせようと警察が来るまでの間、優しく声を掛け続けました。水本さんは「困っている人の役に立つことができているのが嬉しい」、中野さんは「学校生活の中でも、人に優しく接することができる自分でありたい」と話しました。

迷子の男児を交番へ届ける

5月14日、小野田中学校2年生の秋山汐里さんは、自宅から祖母の家に向かう途中に、北竜王町の川沿いの市道で2、3歳と思われる男児とすれ違いました。その道は住宅街の抜け道でスピードを出す車も多く、危険な場所でした。男児は誰かを探したり、泣いたりする様子はなかったものの、周りに大人の姿が見えなかったため迷子を疑い声を掛けました。「お母さんを探しているの」と尋ねたところ、男児がうなずいたため、手をつないで一緒に歩き、セメント町交番まで送り届けました。男児はその後無事に保護者の元に帰りました。秋山さんは「困っている人を見たらこれからも助けたい」と話しました。